

歴史小説家 童門冬二氏が語る

「江戸から明治へ、変革期のリーダー達」

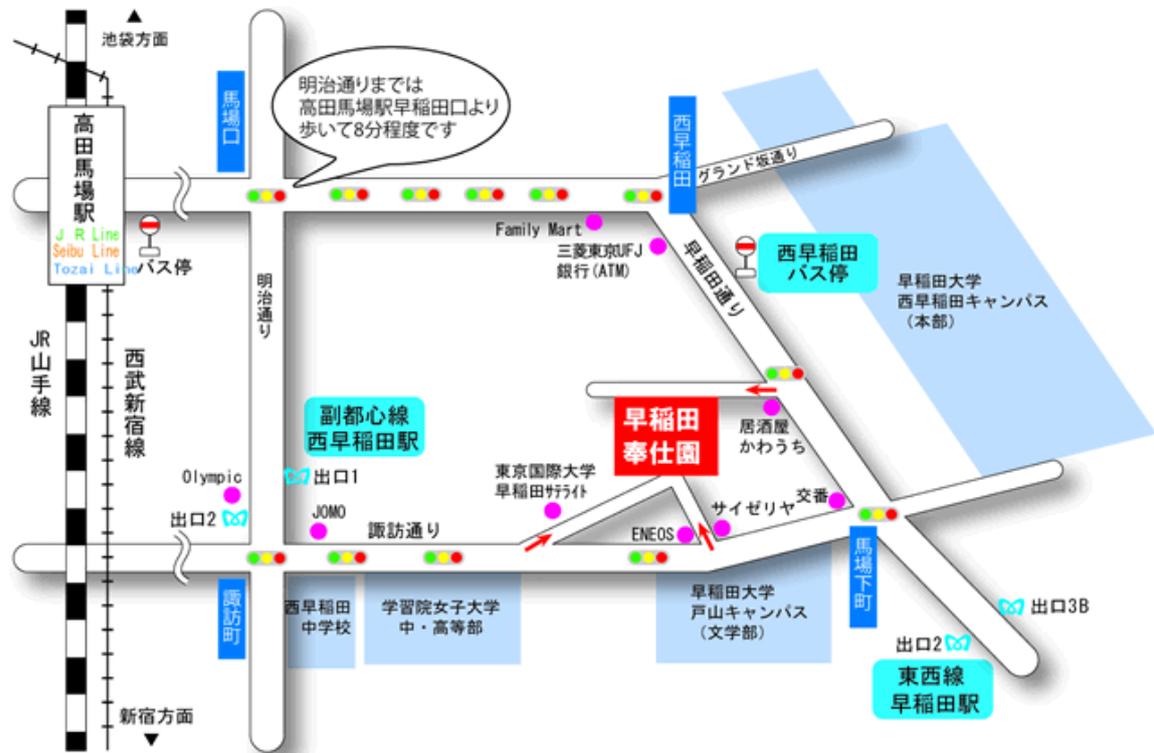
童門冬二氏は、都知事の片腕といわれた**優れた行政マンであったが**、美濃部亮吉知事が都政を去るとき、51歳で都庁を去る。その後、歴史小説家として、坂本竜馬、上杉鷹山、吉田松陰、渋沢栄一など幅広い作品を手がけたのは、有名である。

19世紀、日本は、江戸幕府から新政府へ移行し、アジアで唯一近代化に成功した国となった。それを可能にしたのは、**人々を正しく導いたリーダー達の存在**である。童門氏が、「**リーダー達の実像**」、特に「**日本人の心の美しさ**」を語る。



- ◆ 主催 NPO 法人日本文化体験交流塾主催、後援 グループタウンウォッチング
- ◆ 日時 12月6日(土) 10時～12時
- ◆ 会場 早稲田奉仕園セミナーハウス(新宿区西早稲田2-3-1)
リバティホール <http://www.hoshien.or.jp/map/map.html>
- ◆ 受講料 3,000円(当日会場にて、いただきます)
- ◆ 申し込み方法 日本文化体験交流塾ホームページ(<http://www.ijcee.com/>) または、info@ijcee.comまで、住所、氏名、電話番号、申込講座名を記載のうえ、お申し込みください。 定員 75名先着順
- ◆ 問合せ先 Tel090-1607-5099、080-3313-1107 03-3917-8353
メールアドレス info@ijcee.com 担当 米原 菊地
- ◆ 童門氏の主な経歴

目黒区役所係員から、東京都立大学理学部事務長、広報室課長、企画関係部長、知事秘書、広報室長、企画調整局長、政策室長を歴任した後、1979年に退職、作家活動に専念。1960年には『暗い川が手を叩く』で第43回芥川賞候補となる。在籍中に蓄積した人間管理と組織の実学を歴史の中に再確認し、小説・ノンフィクションの分野に新境地を拓く。
著書:「情の管理・知の管理」「信長・秀吉・家康の研究」「名将に学ぶ人間学」「近江商人魂」「坂本竜馬 人間の大きさ」「宮本武蔵」「伊能忠敬」「人生に必要なことはすべて落語で学んだ」「小説 上杉鷹山」「鍋島直茂」「小早川隆景」「直江兼続」「項羽と劉邦」など多数



■アクセス■

◆高田馬場駅からバスを利用する場合（駅からの所要時間約10分）※交通事情により異なります。

1. 高田馬場駅より都バス「学02 早大正門行き」に乗車、2つ目のバス停『西早稲田』で下車してください。下車後、進行方向に50mほど歩いてください。
2. 信号付き横断歩道を渡ってください。（最初の横断歩道です。）渡った先に、向かって右側に「紅梅」、左側に「かかわうち」という料理屋があります。その間の小道を、20mほど直進すると、左側に早稲田奉仕園の看板のついた掲示板が見えます。（裏口になります。）
3. その看板を左折すると、つきあたりが、早稲田奉仕園セミナーハウスフロントのある建物です。

◆早稲田駅から徒歩の場合（駅からの所要時間約5分）

1. 東京メトロ東西線早稲田駅を下車して、馬場下町交差点に向かって進みます。
 ※千葉方面（船橋・大手町）からお越しの場合…2番出口を出て、左方向に進んでください。
 ※三鷹方面（中野・高田馬場）からお越しの場合…3B出口を出て、右方向に進んでください。
 馬場下交差点は、穴八幡宮神社と交番が目印となります。
2. 横断歩道を渡って左折、150mほど歩いてください。（早大文学部校舎を道の反対側に見ながら歩きます。） レストラン「サイゼリヤ」とガソリンスタンドが見えたら、その間の道を右に入ります。緩やかな上りの坂道です。
3. つきあたりが早稲田奉仕園の敷地となります。